

採択拠点の拠点形成概要及び採択理由

【分野名：学際、複合、新領域】

大 学 名	北海道大学	整理番号	J - 1
拠点のプログラム名称	新・自然史科学創成		
中核となる専攻等名	理学研究科地球惑星科学専攻		
事業推進担当者	(リ-ダ-) 岡田 尚武 外19名		
<p>(拠点形成の概要)</p> <p>人類が生存する地球表層圏の多様性と進化を包括的に理解するための研究拠点を形成する。博物学から分化発展した地球科学と生物分類・進化学の2大領域を現代的な視点から統合し、新しい学問領域である「新・自然史科学」を創成する。特に物質循環の視点を取り入れ世界に類を見ない新しい自然史科学のCOEを築く。恵まれた研究教育環境のもとで国際的な自然分類学者を養成し、広く世界に貢献する。地球-生命相互作用プログラムを設定し、「国際統合深海掘削計画」、「地球規模分類学計画」などの国際研究計画と密接に関連させて研究教育を推進する。本学が推進する学院、研究院構想に即して「新・自然史科学」の大学院コースや大学院留学生特別コースを新設する。多様性データベースの管理システムを大学博物館に確立させ、「自然分類センター」の礎を構築する。大学総合博物館を活用し市民を対象にした準自然分類学者の養成を実施する。</p>			
<p>(採択理由)</p> <p>本大学が全国でも有数の研究者群を有する地球科学と生物分類・進化学の2大領域を融合し、物質循環に着目して、新しい自然史科学を創成しようとする拠点構想であり、事業推進担当者等が中心的な役割を演ずる国際統合深海掘削計画等の国際的な研究計画と密接に連動した計画として評価される。大学総合博物館を活用し、市民を対象とした準自然分類学者の養成をするなど特徴的な企画をもっている。</p>			